

# SC経営士会「アイデアソン」 挑戦の記録と未来への提言

SCの課題にプロの知見が交差する。多様なバックグラウンドを持つSC経営士が集結し、対話と共創を通じて導き出した新たな価値とは。  
4名の参加者の視点から、その本質を紐解きます。

あなたの挑戦がSC業界の未来を創る

# 吉田 武司 | 三井不動産商業マネジメント株式会社

(2025年度参加)



**アイデアソンに参加しようと思ったきっかけや、参加前に期待していたことを教えてください。**

前年の研究発表会での交流を通じ、これまでインプット中心であった関わり方から一歩踏み出し、自らアウトプット側として参加したいと考えたことがきっかけです。社外のメンバーと議論を行うことで、新たな視点を得るとともに、自身の考えを発信する経験を得ることを期待して参加しました。

**参加期間中で、特に印象に残っている出来事や学びは何ですか？**

テーマ設定やアイデアの方向性について認識を揃えるプロセスが特に印象に残っています。立場や業務の異なるメンバー間での合意形成は容易ではありませんでした。丁寧に議論を重ねることで相互理解が深まり、大きな学びとなりました。

**会社や立場を越えて取り組んだことで、感じた変化や価値があれば教えてください。**

会社や役職にとらわれず、フラットな立場で議論ができたことに価値を感じました。ベテランと中堅が一体となって意見を出し合うことで、多様な視点が融合し、新たな発想が生まれる経験ができました。今後の実務においても、このような議論の場づくりの重要性を認識しました。

# 吉田 武司 | 三井不動産商業マネジメント株式会社

フレームワークや生成AI等で、「使ってみて効果を感じたもの」があれば、話せる範囲で教えてください。

PEST分析を通じて、地域特性や自施設の位置づけを俯瞰的に捉える重要性を実感しました。

また、生成AIを活用した情報整理やアイデアの壁打ちにより、事前に思考を深めることで議論の質を高められることを体感し、実務への応用可能性を感じました。

**アイデアソンでの経験を、ご自身の業務や考え方にどのように活かせそうですか？（小さな変化・意識の変化でも構いません）**

異動後の担当業務において、アイデアソンで得た思考プロセスを早速活用しています。

施策検討や仮説構築の場面で応用できており、実務に入る前の良いトレーニングとなりました。

今後も継続して実務に活かしていきたいと考えています。

**参加を迷っている方に向けて、一言アドバイスがあればお願いします。**

SC経営士の価値は、積極的に参加することでより実感できるものだと感じました。経験の有無に関わらず、社外の視点に触れながら自由に議論できる貴重な機会ですので、ぜひ気負わず挑戦いただくことをお勧めします。

# 佐藤 ちひろ | 大和リース株式会社

(2024年度、2025年度参加)



**アイデアソンに参加しようと思ったきっかけや、参加前に期待していたことを教えてください。**

普段の業務では関わることの少ない他業界の方々と共に、同じテーマについて考え学べる点に魅力を感じて参加しました。過年度の参加経験が非常に有意義であったこともあり、今回も経営士の皆さまと議論を深められることを期待して参加しました。

**参加期間中で、特に印象に残っている出来事や学びは何ですか？**

多様な意見を重ねながら最終的に一つの発表にまとめていくプロセスが印象に残りました。発表を整理する中で、自分たちが本当に伝えたい内容を見つめ直すことができ、議論の振り返りと整理の重要性を改めて認識する機会となりました。

**会社や立場を越えて取り組んだことで、感じた変化や価値があれば教えてください。**

自社での取り組みを共有し、それが発表の中に反映されたことで大きな達成感を得ることができました。また、他社の方々からの反応を通じて、自身の経験の価値を再認識することができ、社外との共有が新たな価値を生むことを実感しました。

# 佐藤 ちひろ | 大和リース株式会社

フレームワークや生成AI等で、「使ってみて効果を感じたもの」があれば、話せる範囲で教えてください。

Canvaを活用した資料作成により、イメージを視覚化しやすくなったと感じています。

また、Copilotを用いて事前に自身の考えを整理することで、打ち合わせへの準備がしやすくなり、議論の質向上に寄与することを実感しました。

**アイデアソンでの経験を、ご自身の業務や考え方にどのように活かせそうですか？（小さな変化・意識の変化でも構いません）**

前例のない業務に対しても主体的に取り組み、多様な視点を取り入れながら形にしていく姿勢が身につきました。現状分析から関係者の巻き込みまで一貫して進める力が向上し、日々の業務への活用を実感しています。

**ネットワークや視座の面で、参加前後で変化はありましたか？**

アイデアソンを契機に社外ネットワークが広がり、いわきサンシャインマラソンへの参加など、予想外の繋がりも生まれました。こうした交流が、他社の取り組みをより深く知る副次的なメリットになっています。

**参加を迷っている方に向けて、一言アドバイスがあればお願いします。**

参加すれば、SC協会に関わる全ての方が「ずっと仲間である」と実感できるはずです。

大変な局面でも事務局が手厚くサポートしてくれる環境ですので、安心して新しい世界に飛び込んでみてください。

# 大島 俊明 | 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社

(2024年度参加)



**アイデアソンに参加しようと思ったきっかけや、参加前に期待していたことを教えてください。**

社内で唯一の有資格者という孤独な環境を変えるため、刺激的な新しい視点を求めて応募しました。一線のSC経営士たちと客観的な議論を重ねることで、自分の実力を試したいという挑戦心もありました。

**参加期間中で、特に印象に残っている出来事や学びは何ですか？**

共通の思考フォーマットを持つプロ同士、些細な一言から課題抽出が驚くほどスムーズに進む疾走感が心地よかったです。地域連携という漠然としたテーマに対し、フレームワークが機能した瞬間は快感でした。

**会社や立場を越えて取り組んだことで、感じた変化や価値があれば教えてください。**

役職に関わらず自ら役割を取りに行く「能動的な現場感」を再体験し、大きな充実感を得ました。調整業務から距離を置きがちな年次の方こそ、企画をゼロから立ち上げる醍醐味を味わえるはずです。

# 大島 俊明 | 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社

フレームワークや生成AI等で、「使ってみて効果を感じたもの」があれば、話せる範囲で教えてください。

Teamsによるオンライン議論の有効性を再認識しました。

目的やゴール、各メンバーの役割を明確にすることで、単なる情報共有にとどまらない深い議論が可能となり、より質の高いコミュニケーションが実現でき遠隔地同士でもハイレベルな合意形成が可能だと確信しました。これは今後の業務におけるオンライン活用の可能性を広げる発見でした。

**アイデアソンでの経験を、ご自身の業務や考え方にどのように活かそうですか？（小さな変化・意識の変化でも構いません）**

合意形成に対する関心が高まり、商業施設とステークホルダーの関係性をより深く捉えるようになりました。

今後は円滑で分かりやすい合意形成のあり方を探求し、実務の中で継続的に活かしていきたいと考えています。

**ネットワークや視座の面で、参加前後で変化はありましたか？**

ネットワークの形成により、多様な視点に触れる機会が増加し、視座が大きく広がりました。

さらに共同検討の可能性など新たなつながりも生まれ、今後の展開への期待が高まっています。

**参加を迷っている方に向けて、一言アドバイスがあればお願いします。**

思い切って飛び込んだ結果、得られたのはプラスの経験ばかりでした。

SC経営士全員でこの場を盛り上げ、強力なアピールポイントに育てていきましょう。迷っているなら、ぜひ一度体験してみてください。

# 舘澤 瑛美 | イオンモール株式会社

(2024年度参加)



**アイデアソンに参加しようと思ったきっかけや、参加前に期待していたことを教えてください。**

他社ディベロッパーの方々との議論を通じて、多様な視点を自身の業務に活かしたいと考え参加しました。特にESGや非財務指標といった難易度の高いテーマに対し、社外の知恵を取り入れながら自分なりの解を見出すことを期待して取り組みました。

**参加期間中で、特に印象に残っている出来事や学びは何ですか？**

毎週のミーティングを通じ、部活動のような一体感で、「これだ」と思えるアイデアにたどり着いた瞬間、チームメンバーで歓喜したことが特に印象に残っています。単なる知識習得ではなく、仲間と一緒に考え抜いたからこそその達成感がありました。

**会社や立場を越えて取り組んだことで、感じた変化や価値があれば教えてください。**

単館ディベロッパーを含め、立場や規模に関わらず、ESGの中でも特に「S（社会）」領域が商業施設にとって重要であることを改めて実感しました。また、チームメンバーのネットワークで、既存サービス企業や生成AI関連企業にもヒアリングできたことも大きな学びとなりました。

# 館澤 瑛美 | イオンモール株式会社

フレームワークや生成AI等で、「使ってみて効果を感じたもの」があれば、話せる範囲で教えてください。

生成AIについては、議論の整理や論点抽出に非常に有効であること、そしてアウトプットの質を左右するのは「プロンプト設計」であることを学びました。現在では生成AIの業務活用は一般的になりつつありますが、当時としては先進的な活用方法を学べたことが、新たな発見でした。

**アイデアソンでの経験を、ご自身の業務や考え方にどのように活かせそうですか？（小さな変化・意識の変化でも構いません）**

正解のないテーマに対しても、分析や仮説検証を積み重ねて形にしていくという経験が、現在の業務への向き合い方につながっています。単に与えられた業務として進めるのではなく、新しいサービスを生み出すような意識を持ちながら、主体的に進める姿勢が身につきました。

**ネットワークや視座の面で、参加前後で変化はありましたか？**

自社だけの利益に留まらず、ショッピングセンター業界全体の発展を考える広い視座を得ることができました。

社外ネットワークの広がりにより、多様な事例に触れる機会が増え、より広い視野で物事を捉えられるようになったと感じています。

**参加を迷っている方に向けて、一言アドバイスがあればお願いします。**

一歩踏み出すことで新たな視野やネットワークを得ることができる貴重な機会です。

迷っている方にはぜひ挑戦いただき、新しい世界を体感していただきたいと思います。

# 次なる主役は、あなたです。

社外のネットワークを活かし、SCの未来を描く「アイデアソン」。  
ここには、日常業務では得られない刺激と、志を共にする仲間が待っています。  
あなた自身の「変化」を見つけてみませんか。

2026年度アイデアソンの募集をまもなく開始します！